

私の車いす生活 ～中部ろうさい病院を退院して～ リハビリテーション科・社会生活講座より

63歳 夫婦で二人三脚！ ～外出のあれこれ～

近藤 実男 63歳・頸髄損傷



ウォータージェットで川下り

これまでの経緯

平成9年4月17日、住宅建設現場で落下、豊田の加茂病院に入院。まだ寝たきりになるのははやいと言われ名古屋の労災病院を紹介され6月23日に転院。それからリハビリ開始。最初にできたのが、自分で食事した事(自助具を作ってもらって)。とてもおいしかったです。

何とか車の助手席に乗れるように訓練し移動手段を確保しました。平成10年3月31日労災病院から豊田の加茂病院に。

まだ家に戻りたくなく、なんだかんだと言いながら7月31日まで入院。そして自宅に。でも家は何も改修してません。段差のある所は、スロープを置いて過ごしてました。平成20年バリアフリーの家を建て、引越してきました。仕事はしてません。頸髄損傷者連絡会¹⁾に参加し勉強会やら遊びに夢中。

外出について

平成10年7月31日に自宅に戻り、何もしなくただ寝てるだけでした。

愛知の頸髄損傷者連絡会に誘われ即入会。それからポチポチと外へ。

そして最初にした事は、労災病院の同期生と旅行、夫婦2組で。

お互い主人が頸髄損傷。その時初めて温泉に入りました。

何も分からず…でも、旅行が出来るんだ…と。

頸髄損傷者連絡会の全国総会で東京・大阪等色々行きました。

そしてイチバン驚いた事が、グライダーに乗ったこと。

京都会員の紹介で、大野グライダーの会員になり、

20回ほど同乗させてもらい、随分世界をあじわいました。

これは今でもいい思い出です。

最近は体調がよくなり、残念ながら乗ってません。

移動手段は、車ばかりです。だから電車に乗るときは少しドキドキ。

平成20年9月、北海道に行きました。往復船で(車2台持込)、

車いす3人・健常者2人。

天気に恵まれ、食べ物は美味しく、車いすの人も温泉に入れ、

とても楽しかったで～～～す。さすがにデッキイドウ～～。

バリアフリーの家に来たら、よけいダラケテます。

頸髄損傷者連絡会には今でも積極的に参加してます。

時間外や貸切のお風呂に！
奥様同士が協力して入浴介助

大野グライダーにて



リフトバスで1泊旅行

¹⁾ 1973年に発足した頸髄損傷当事者の組織。頸髄損傷者への情報提供、親睦交流、行政交渉などを行い、頸髄損傷者の抱える問題を解決するために活動している。

*** リハビリテーション科・社会生活講座とは ***

入院患者さん向けの生活支援応援会。社会復帰して活躍されている脊髄損傷者の方に、地域社会での生活について情報提供してもらおうピアサポートの場。患者さん・ご家族の元気力アップと悩み解決に役立つ講座となるよう活動しています。